

## 令和4年度 事業計画

### 【I】基本方針

阿見町の令和3年10月1日現在の常住人口は、48,316人で前年同月との比較で389人の増(0.8%増)となりました。一方、65歳以上の人口は、13,602人で前年より136人増え、高齢化率も28.3%(茨城県30.4%)となりました。また、15歳から65歳未満までの生産年齢人口は、28,428人で前年より212人の増となりました。一方、0歳から14歳までの年少人口も5,981人と前年より41人増加しています(県長寿福祉推進課、町総務課調べ)。

少子高齢社会が進行しているなかですが、阿見町の人口は5万人に向かって着実に増えてきており、市制施行も夢ではない状況となっております。来るべき市制施行へ向けた準備段階のひとつとして、町では「シルバー世代の就労拡充」を掲げており、当センターとしてもこれに呼応する形で取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、県独自の緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置の発令に伴い、町公共施設の休館、祭りやイベント中止、企業の就業縮小・休業、テレワークなど、社会経済活動の停滞により当センターにおいても少なからず影響を来たしており、この事態の収束が見通せないことが憂慮されます。3回目のワクチン接種が進んだとはいえ、引き続きマスク着用、手洗い、手指消毒、検温等を実施し、他人数での飲食や三密(密閉、密集、密接)を避けるなど、基本的な感染防止対策を励行し、新しい生活様式を取り入れた日常生活を送ることがますます大切になるものと認識しております。

当センターとしては、このように日常の生活が一変したコロナ禍のなかではありますが、昨年11月に設立30周年記念式典を開催し、今年度を新たなスタートの第一歩と位置付けて、5年後、10年後と末永く繁栄、発展を成し遂げるため、センターの事業に取り組んでまいります。そのためには、会員の皆様の安全を最優先に掲げ、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、生涯活躍し続けることが出来る「生涯現役社会」を実現すべく臨時的かつ短期的な就業又は軽易な業務の就業機会を提供してまいります。また、社会貢献活動や研修・講習等を通じて、地域社会に根ざしたセンターづくりに全力を注ぐとともに、全シ協が掲げた「会員100万人達成計画(2024年度まで)」の修正された目標達成に向け、「会員の拡大事業」に引き続き、取り組んでまいります。

## 1 事業達成目標

- (1) 会員数 360 人（前年度 440 人）
- (2) 就業率 100 %（請負、派遣合わせて）
- (3) 契約件数 2,500 件（請負、派遣合わせて）
- (4) 契約金額 請負 188,000 千円、派遣 66,000 千円（合計 254,000 千円）
- (5) 安全就業スローガン ①「チョットまで 作業の手順 手を抜くな！」  
②「無災害 個々の意識が 実を結ぶ」

## 2 シルバー人材センター事業

- (1) 会員の拡大事業（全国シルバー会員数 100 万人計画に向けて）
  - ① 定期的な入会説明会開催による会員の入会推進
  - ② イベント開催、会員同好会、ゴールド会員制による会員の退会抑制検討
  - ③ 役職員、会員による会員紹介・勧誘活動の推進
  - ④ 女性会員によるネットワークの活用による女性会員の入会推進
  - ⑤ 賛助会員の入会推進
- (2) 就業開拓提供事業
  - ① 会員就業先の安定的確保に努め、臨時的かつ短期的、軽易な就業機会を提供（請負、委任又は派遣就業）
  - ② 事業所訪問、電話、メール発信などによる受注活動
  - ③ 阿見町役場、町商工会との連携強化による新規事業の情報、提案
  - ④ 阿見町ふるさと応援寄附返礼品事業（空き家見守りサービス）への参加継続
  - ⑤ 新聞折込みチラシ、店頭広告、就職情報誌、インターネット情報、町広報紙、公共施設 13 か所に配架など社会的資源の活用
  - ⑥ ハローワークとの関係強化による高年齢者の就業推進
  - ⑦ 日常生活支援事業（ワンコインサービス、ゴミ出し、電球交換など）検討
  - ⑧ 農業分野（ブルーベリー果樹園など）への参加取組み検討
- (3) 調査研究事業
  - ① 女性会員が増加している先進センターの取組み状況の調査研究
  - ② アンケートによる顧客満足度調査
  - ③ 近隣センターとの情報交換による事業内容等、比較調査研究
  - ④ 先進センター訪問によるセンター事業に関する各種調査研究

(4) 相談事業

- ① 会員への就業情報提供
- ② 未就業会員に対する個別就業相談
- ③ 公共施設等関連業務希望会員を対象とした就業相談
- ④ 配置替えやワークシェアリング、シフト制による公平な就業機会の確保

(5) 研修・講習事業

- ① 接遇マナー講習
- ② 植木手入れ講習
- ③ 県シ連が企画する高齢者人材育成事業との連携による講習
- ④ センター独自による研修の企画、実施

(6) 普及啓発事業

- ① 阿見町広報紙へのセンター事業の紹介掲載
- ② 会報紙年4回（5月、7月、10月、1月）の発行
- ③ 事業普及のための作成チラシ、公共施設13か所に配架
- ④ シルバーの日（10/1）及び普及啓発促進月間（10月）におけるPR活動
- ⑤ 「阿見町さわやかフェア」イベント参加による普及活動（県シ連共催）
- ⑥ センター啓発用タオル、ティッシュ、グッズ等の配布
- ⑦ SMSサービスによる情報の迅速な配信
- ⑧ ホームページ活用による的確な情報の発信
- ⑨ 入会説明会用センター紹介DVDのリニューアル

(7) ボランティア活動事業

- ① 阿見町予科練平和記念館の環境美化活動
- ② 阿見小、植物園等の植木の手入れによる美化活動
- ③ 霞ヶ浦周辺清掃美化活動
- ④ 使用済み切手の回収、寄附活動
- ⑤ 県シ連主催チャリティゴルフ大会参加活動
- ⑥ その他、公共関連施設の環境美化活動

(8) 安全・適正就業推進事業

- ① 県シ連主催安全就業推進大会への参加
- ② 事件事例紹介及び安全就業ニュースの発行による安全就業の徹底
- ③ 新型コロナウイルス感染症、熱中症、インフルエンザ等の注意喚起徹底及び会員の健康管理の励行

- ④ 事故多発業務、夜間業務、運転業務等に関する安全パトロールの実施
- ⑤ 交通安全講習、自動車安全運転講習の実施
- ⑥ 運転前後のアルコールチェックの徹底
- ⑦ 普通救命講習（AED）の実施
- ⑧ 認知症サポーター養成講座の実施
- ⑨ 請負契約から派遣契約への切替えなど適正就業への取組み
- ⑩ 交通安全の見地からセンター全車両にドライブレコーダー搭載

## 【Ⅱ】法人管理事業等

### 1 会員の拡大のための目標値設定

(⇒R4 会員数 360 人⇒R5 会員数 380 人⇒R6 会員数 400 人)

### 2 会議、研修の実施

- (1) 定時総会 年1回（6月）
- (2) 理事会 年6回程度 開催
- (3) 役職員研修 役職員の資質向上を図るため、県シ連等研修への積極的参加

### 3 センター組織の強化と改善への取組み

- (1) 襖・障子張り、植木手入れ、草取り、日常清掃など会員の高齢化対策の推進
- (2) センター職員の増員による事務局体制の強化推進
- (3) 職員の意識改革、レベルアップのための講習・研修への参加推進
- (4) 規則、規程等の見直しを図り、円滑な事業運営の推進
- (5) 町補助金の増額・維持及び公共関連事業の受注増加・維持の推進
- (6) PCシステムの増設、IT化の推進
- (7) 書庫の整備による文書管理の推進
- (8) インボイス制度（令和5年10月1日施行）への対応

### 4 財政基盤の確立

公益社団法人として関係法令を遵守し、経費節減等に努め、計画的かつ効率的な財政運営を図るとともに事業収益及び国や町からの補助金の財源確保による安定的経営基盤を確立し、健全財政に努める。